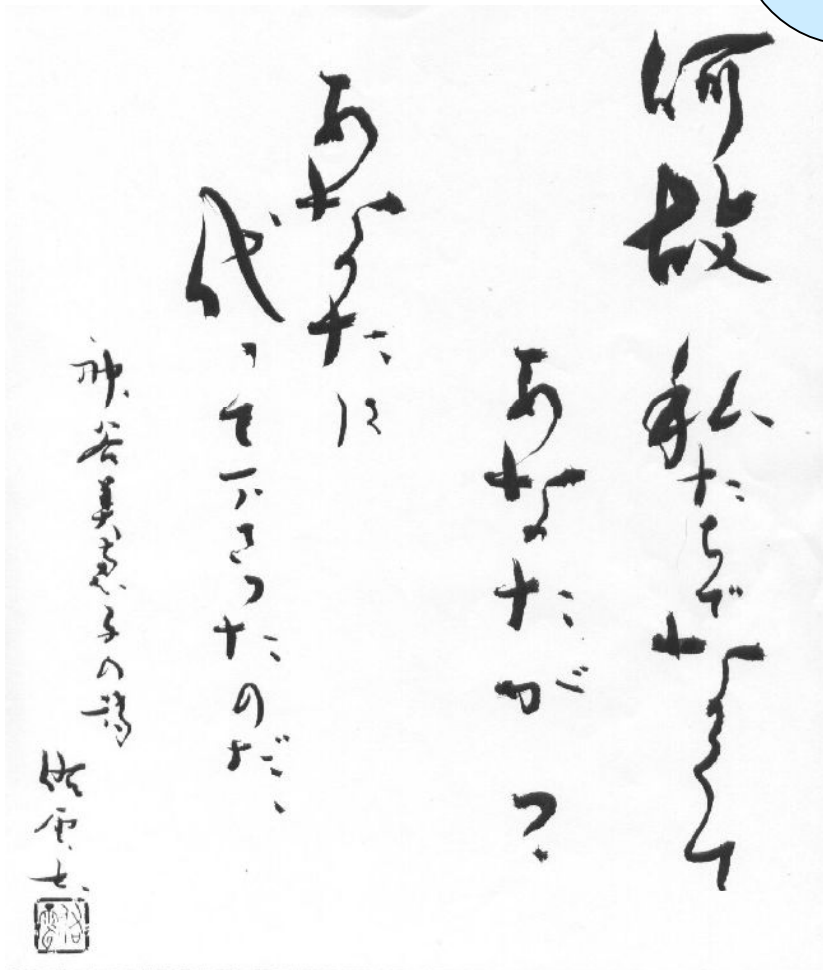


足利風 -ashikaga-fū

2010
3月号
Vol. 6



足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ ご案内 ☆

*特集！

*TOPICS

*私のボランティアことはじめ

*サークル紹介

*インフォメーション

*センターからのご案内

* ~他者のおかげで、在る自分~ *

ハンセン氏病患者治療に生涯を捧げた精神科医・神谷美恵子(1914年~1979年)が、1943年に詩った『ライ者に』の一節「なぜ私たちではなく あなたが？ あなたは代わって下さったのだ」。その著書『生きがいについて』『人間を見つめて』は永遠の生きる道しるべとして感動を与えつづけている。

また、『若き日の日記』にも随所に心ふるわす言葉がある~「汝自身たれ」ということは、何と難しいことだろう。何と時間のかかることだろう。そのために何と苦しまなければならないことだろう。実に、身を削る思いだ。しかし、身を削る思いをすることのみ価値があるのではないだろうか。自分の心血を注ぎ出すことのみ、自分のものなのだから・・・」~

21世紀のキーワードは、「エンパワーメント」。自分で自分の力を開発することと、より深い自分の潜在的な力にアクセスすること。後者は、ボランティアな活動につながっている。利他行為によって、つまり、「外の光で内側を照らす(老子)」ことによって、はじめて本当の自分に気づく、ということ。

神谷美恵子さんの愛するレバノンの詩人ジブラーンも、「自(みずか)らは、極みなく果てしない海です。あなたの無限の深みにある宝は、あなたの目に触れたがっているのです・・・」と謳っている。

すべてのものはお互いにかかわりあっている。他者のおかげで現在(いま)の自分が在る。この世に“いのち”をいただくものはすべて、幾世代をもかけて付き合ってきた父母兄弟である、という“隣り人”の意識が、地域という共同体には求められる。そして、地域の中でこそ福祉を！という「地域福祉」への、市民の主体的な参画が望まれているのである。

(M生)



* 満席の地球サロン「わたし流・世界見て歩き」*

12月23日、足利市国際交流協会主催の地球サロン「わたし流・世界見て歩き」が市民活動センターにて行われ、定員30名のところほぼ満席となりました。語り部はフィリピン出身の高山アンジェラさん、元キャセイ・パシフィック航空のフライトアテンダント小林圭世さん、そして在米9年の経験がある私の3人で、国際交流協会ボランティア通訳部会の奥中敏則さんがコーディネーターとなり、それぞれがお国の事情や経験談などを語りました。

高山さんは、列強の国々により植民地支配されてきたフィリピンの歴史や食文化などについて話され、手作りの伝統料理アラヤを振る舞ってくれました。また、小林さんにはフライトアテンダントへの応募、採用、訓練等の裏話をお聞かせいただき、私はアメリカの気候や行事について、写真を見せながらご紹介しました。途中、奥中さんのニューヨークへの旅や趣味のジャズの話などもあり、楽しいひと時を過ごしました。

足利市国際交流協会 宮崎 桂子

＊・・・ボランティア・・・それは“ありがとう”の、いったりきたり ＊

平井登志子（足利・声のボランティア会）



下の子どもが小学生になった時、ふとしたことから「声」で情報を伝える～という活動が、私の心を虜にしました。それは、足利市内の視覚障がいの方へ、市の広報紙・あしかがみを始め、社協だより・市議会だより・各選挙公報その他多くの情報を、音声に変えてお届けしている「足利・声のボランティア会」の活動でした。

社協主催の“朗読講習会”（当時はこう言っていた）を終了した主婦たち（ほとんどが）が活動に参加しました。“音声”で伝えられる限界と可能性の狭間で格闘し、時には、打ちのめされたり、そのうちには“伝える”楽しさを感じられるようになると、子どものようにワクワクもし、ますますこの世界に面白さを見出すことが出来ました。

二十数年関わって以来、かなりの間私は「ボランティア活動は自分の意思でやっている！」、こう思っていました。ある時フツと気づかされました。こうして続けられたのは、①私たちの情報を聞き続けているリスナーさんあればこそ、②運よくそれなりの健康が与えられていること、③活動をしている私を、家族がいろいろな形で応援してくれていること等等。また、会員自体、様々な事情の中でやりくりをしての活動で、多くの仲間が時に応じた支え合いの連携が今日までここに繋がってこられたのだ、ということ。どれひとつが欠けても成り立たないことであつたのです。

昨年、ハッピーサプライズで、厚生労働大臣より、長年の活動を讃えての栄誉をいただきました。情報を送ってくれて“ありがとう”と、情報を聞き続けてくれて“ありがとう”が、行ったり来たりしています。これからもずっと続けていきますよ！

“ボランティア”それは“おたがいさま”・・・そんな心境の今日この頃です。

＊ 八幡こども太鼓クラブ ＊

小林 克之

八幡こども太鼓クラブは平成 10 年 9 月に八幡二丁目の育成会活動の中から始まりました。テレビゲームに熱中する子供達が増える中、「週に一度くらいは太鼓を叩いてストレスを発散させるのも良いのでは？」との思い付きからでした。小学生が対象で町内に限らず現在 18 名の子供たちで毎週火曜日の夜 7 時から 9 時まで練習しています。内容は伝統ある和太鼓や創作太鼓、足利市の無形文化財に指定されている八木節を演奏することですが、青少年の健全育成にも繋げて行きたいと考えています。

演奏活動は年間を通して行っています。4 月 29 日のグリーンフェスティバルや秋の尊氏公マラソン、市民プラザで行われる子供の祭りの「Y・Y フェスタ」、昨年 12 月には渡良瀬川で行われたバルーンフェスタでも演奏しました。八木節は秋の運動会や市民文化祭に参加して演奏を披露しています。

演奏活動とは別に 6 月には太鼓の合宿を行っています。名草のセミナーハウスを利用して一日半、和太鼓の練習に取り組んでいます。朝から晩までの太鼓漬けですが、楽しい思い出作りになっています。

最近ではお年寄りの施設からの演奏依頼も多く、おじいちゃんやおばあちゃんが車いすで涙を流しながら一生懸命に拍手してくれます。聞いていただいた方にもっと喜んでいただける演奏ができるよう「楽しく、仲良く、元気よく」をモットーに頑張っていきます。

① インフォメーション ①

☆ みんなのしゃべり場 ～パート3～

好評につき、「みんなのしゃべり場 パート3」を開催します！
春風も肌に心地よい季節となりますので、今回は、桜の樹の下で日々の思い…などなど
楽しくおしゃべりしませんか。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。
※ 午後1時より、車いす利用の方のご協力により車いす体験を行います。

日 時：平成 22年 4月 3日(土) 午後 1時 30分 ～ 3時 30分
会 場：足利市民活動センターの庭（雨天の場合は、3F フリースペース）
対 象：活動センターに登録している団体・個人または活動に興味・関心のある方
参 加 費：無料（飲み物、お菓子付）
締 切 日：平成 22年 3月 31日(水)
申込方法：所属団体(所属している方のみ)・出席者を電話・FAX・メールにて
お申込ください。

問合・申込:足利市民活動センター（TEL:44-7311）

☆イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンご協力をお願い

毎月 11 日がイオンデーです。その日の黄色いレシートをイオン(太田店)の
「足利市民活動センター」のイエローレシートBOXにお入れください。

* センターからのご案内 *

☆平成 22 年度のロッカーとレターボックスの利用希望者募集のご案内

* 希望される団体等は、平成 22 年 3 月 19 日までに活動センターまで、お申し込みくだ
さい。なお、申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

☆みんなの広場 ～ 3月・4月のご案内 ～

*NPO法人
ナチュラル展(3月1日～11日) *田中佑雲原画展(3月15日～25日)
*バードカービング展(4月5日～15日)
*特定非営利活動法人 カドリーベア・デン・イン・ジャパン展(4月19日～5月6日)

☆相談室&講座のご案内

*相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時
※詳しくは、別紙参照
*講 座 = 毎月1回 午後7時～9時
※詳しくは、別紙参照

【 編 集 後 記 】

右上がりの体重を見て、気持ちは右下がりに……。頑張らなくちゃ！！(コッペ)
毎日、3Fまでの階段の上り下りでダイエット中で～す！（ボンクラ）
春の日差しに包まれて、ゆるやかな一日を過ごしたいなあ（^^）（アイリ）